

みよし市 スポーツ推進委員だより



2018. 5. 15
No.047

発行・編集／みよし市スポーツ推進委員会 〒470-0224 みよし市三好町池ノ原1 三好公園
体育館内
URL: <http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/sports/taiikusidouin.html>
TEL: (0561)32-8027

1 平成30年度スポーツ推進委員紹介

	委員長	副委員長	副委員長	副委員長	顧問
氏名	柴田 雅文	金乙 浩	鈴木 康之	竹溪 葉子	松波 廣昭
学校区	緑丘小	南部小	三好丘小	緑丘小	天王小

梅田 千恵子	出原 裕仁	雪野 純一	石川 拓郎	近藤 美和子	伊豆原 めぐみ	宮澤 義弘
中部小	中部小	中部小	北部小	北部小	北部小	南部小

深谷 友昭	坂元 享文	久野 正博	高根 富雄	前田 恭伸	田口 忠秋	前田 直美
南部小	天王小	天王小	天王小	三吉小	三吉小	三好丘小

長谷 康美	原田 正人	横井 章人
緑丘小	黒笹小	黒笹小

2 第65回東海四県スポーツ推進委員研究大会PART 1

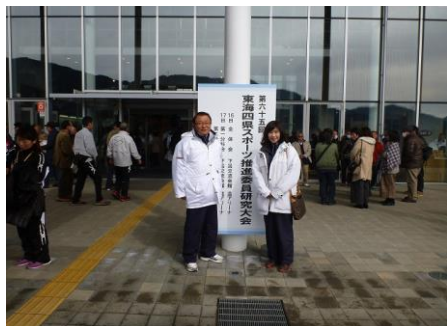
第65回東海四県スポーツ推進委員研究大会が平成30年2月16・17日に岐阜県下呂市で2,300余名が参加し開催されました。

1日目はみよし市から、松波委員長と竹溪委員の2名が参加し、表彰式では松波委員長が「中ブロックスポーツ推進委員功労者表彰」を竹溪委員が「東海四県スポーツ推進委員功労者表彰」を受賞しました。講演会では、「失敗や変化をチャンスに変える“からだ”と“あたま”の可能性」の演題で「大前光市さん」の講演を聞きました。

大前さんの名前を聞いても判らないと思いますが、例えばリオパラリンピックで義足のダンサーとして演技したり、最近ではNHK紅白歌合戦で、歌手の平井堅さんとコラボレーションしてバックでダンスを演じた方です。

大前さんは、大阪芸術大学でクラシックバレエを学びプロダンサーとしてスタートを切った24歳の時、交通事故で左膝下を切断しました。

片足でも踊り続けるために、ヨガや武道、新体操など幅広いジャンルの動きを学び、さらに作品に合わせて長短様々な義足を使い工夫することで、世界にふたつとないダンススタイルを築き、世界中のコンクールで数々の賞を受賞し、片足でも魅せられるダンサーとして、世界にその名を知られるようになるまでの講話と片足でのダンスを披露しながらの講演を視聴しました。



3 第65回東海四県スポーツ推進委員研究大会PART 2

2日目は研究協議の発表がありました。

第一分科会では「地域社会の変化に合わせたスポーツ推進委員のあり方～PDCAサイクルを取り入れた改善活動～」では今までは運営の引き継ぎは定例会等での口頭報告が通常で、実施日には担当者や責任専門部が当日の参加者に対してその場で指示して運営をしていましたが、『一貫性がなく場当たりの効率性、効果性に欠ける』との指摘から、Plan(計画)Do(実施)Check(評価)Action(改善)の内容を1枚のシートに記録し次回の開催企画立案に情報が蓄積されそれを生かすことにより推進委員全員での情報の共有化により目的や役割が明確になることで、プログラム指導方法がはっきりし、ねらいから達成までの一貫性の確保、進行がスムーズになり負担が軽減したそうです！

「いつでもどこでも1町民1スポーツ～多世代参加のスポーツ実施とバルシューレの普及を目指して～」では、年齢性別に関係なく養老町に住む全ての人自分が自分にあつたスポーツに親しみ、心身ともに健康で健全にすごすことが出来る町を目指すためにウォーキングやドイツで開発された全てのボールゲームに共通する基本要素をみにつけられるバルシューレという運動プログラムの普及に頑張っているそうです。

第二分科会では「みんなでたのしくけんこうに笑顔の御嶽～ベアリングの考案と普及活動～」では、今まで普及をしてきた軽スポーツは、年代層ごとに限られた活動が多くなりマンネリ化を感じた事から全ての年代また、体の不自由な方まで出来るオリジナルな新スポーツを考案する話でした。

「心豊かにいきいきと健康のまち瑞浪に～ノルディックウォーキングの普及などにより体力向上と健康寿命を伸ばそう～」では健康づくりは歩くことからと市内8地区9コースのウォーキングコースを各地域の要望や景観、道路状況をふまえ推進委員が作りました。そしてそのコースでいろいろなウォーキングイベントを開催しているそうです。第三分科会は「障害者と共に笑顔で楽しむために～スポーツを通じた交流～」では、障害者スポーツをした方に行ったアンケート結果で初めて体験したと言う方が51%で今まで体験する機会に恵まれなかったことが分かり実際に体験してみてその楽しさに興味を持った方が73%、またやりたいが81%と障害者スポーツは障害者だけのスポーツだと思っていたが健常者にとっても十分運動量もあり健常者と障害者が同じ条件で一緒に楽しめる素晴らしいスポーツなので今後この体験を無駄にしないように各関係機関、団体との連携をとりスポーツを通じた共生社会の実現を目指して行きたいとの事でした。

今回の研究大会でいろいろ勉強させて頂きました。この事は今後のみよし市のスポーツ行政、推進委員の活動に活かして行きたいと思えます。



